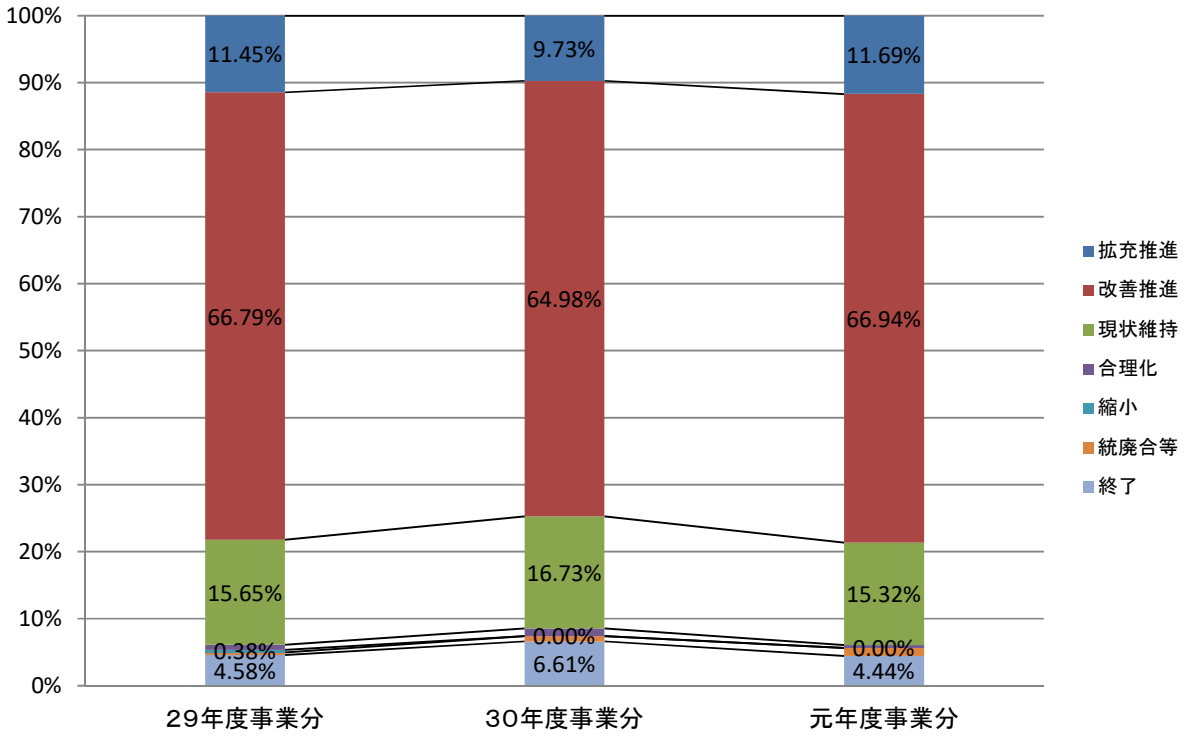
○今後の事業の方向性の集計結果

別紙2

方向性名称	方向性の内容	費用	成果	29年度事業分	30年度事業分	元年度事業分
拡充推進	さらに費用をかけることにより、成果の向上を図る。	↗	↗	30	25	29
改善推進	費用は現状を維持し、事務事業の見直し（事務改善による効率化、実施方法の転換等）により成果の向上を図る。	→	↗	175	167	166
現状維持	事業の見直しの余地がなく、費用、成果ともに現状を維持する。	→	→	41	43	38
合理化	費用は削減するが、事務事業の見直し（事務改善による効率化、実施方法の転換等）により成果の現状維持を図る。	↘	→	2	3	1
縮小	成果の縮小や後退もやむを得ないものとし、費用を削減して事業を縮小する。	↘	↘	1	0	0
統廃合等	事業を抜本的に見直し、休止、廃止、他事業との統合、終期設定等を行う。	—	—	1	2	3
終了	事業の目的を達成または終期到来のため、事業終了とする（単年度事業であり、他の事業との関連や今後の継続性がない事業もここに含む）	—	—	12	17	11

「今後の事業の方向性」別事業率（%）